

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FWII

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画推進課

関市立旭ヶ丘小学校 様

今回は2019年4月に導入されたORPHIS FW5230IIについて足立様に話を伺いました。

印刷の中心にORPHIS

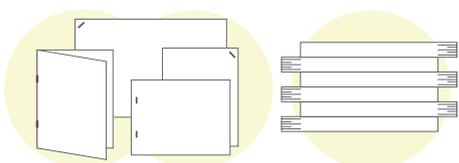
当校では、校内の印刷をPCからのプリント出力やカラー出力をレーザー複合機、大量印刷する場合を印刷機で行っています。どちらの機械も用途に合わせて使い分けを行っていますが、レーザー複合機は1枚あたりのカラー単価が高く、積極的にカラー印刷ができない、印刷機は片面/多枚数の印刷の時には操作が簡単で大変重宝していますが、両面印刷時は片面印刷後に用紙を裏返して裏面の印刷を行う必要があり、表面の印刷が乾ききっていない状態で裏面を印刷すると、紙詰まりやインク汚れが出たりするので作業が増えて不便に感じるなどの課題を抱えていました。そんな中、岐阜県内の小中学校で、印刷作業を大幅に改善でき、学校現場でもカラーをより身近に使用できるプリンターORPHISが導入されていることを知り、関市内の小中学校でORPHISを使用している学校からもORPHIS導入で劇的に環境が変わると聞いていましたので、当校でもORPHISを是非使いたいと思っていました。

ORPHISが導入されてからは、簡単な設定を行うだけで手間なく両面の同時スキャンと印刷ができ、また速乾性のあるインクのため手を汚すことなく短時間で印刷ができるようになりました。そして何より、今まで必要な掲示物1枚だけをカラー出力していましたが、カラーを身近で手軽に印刷できるようになったので、枚数が多い児童に配布するプリント・教材などもカラーで印刷する事が可能になりました。そしてカラーによる視認性UPで生徒達の目に留まりやすいプリントに変化させることが出来ました。ORPHISがある事によって、印刷環境が大きく変化し、校内の環境も変わりつつあります。現在予算の関係上モノクロ印刷している学級通信も、カラーだと子ども達の表情も伝わりやすくなりますので、徐々にカラー化していけるといいですね。



働き方改革にも大きな活躍

印刷物の多い学校現場では印刷作業に費やす時間が多く、忙しい中で生徒用のプリントを準備したり、授業と授業の間に印刷するので印刷渋滞も起こりやすく、先生達の負担になっていることもしばしばあります。ORPHISは印刷機と同等以上の印刷スピードもさることながら、仕分け・ステープルの後処理が自動でできる事も学校としては助かっています。特に2ヶ月に1回の職員会資料(50~60ページ、30部程度)やPTA(冊子)の資料は印刷枚数も多いので、手作業で各ページに仕分けをして、ホチキス留めをしていくのはとても手間と時間の掛かる作業でした。しかしORPHISのステープル機能を活用する事で、印刷と同時にホチキス留めまで完了するので、とても楽になり、さらに短時間で準備ができるようになりました。ステープル機能を使用しない場合でも、オフセット排紙機能で部ごとにずらしながら分けて排紙ができるので、仕分け作業の手間が省け簡単に1部ずつ配布できますね。応用でプログラム印刷機能を使うことで、事前に学級数や生徒数を登録しておけば、学級ごとに印刷の排紙が可能ですので、かなり便利になったと聞いています。



職員会の資料は各先生からそれぞれ提出された資料をまとめて冊子にして印刷しています。今まではどの先生の資料が何ページになるのか、資料の提出後にまとめるまで分からなかったのですが、ORPHISでは印刷時にスタンプ機能を使うことでページ印字が出来るため、今後さらに活用していきたいですね。

印刷のフル活用!?

ORPHISは、はがき以上の厚い用紙(上限210g/m²)にも対応が可能であるため、厚紙を印刷する時にも活用しています。特に体育の学習カード等の長期間にわたり使用する物はすぐに破れたりしないように厚紙を使用しているのですが、他機械で印刷した際は紙詰まりのトラブルなどが頻繁にあったので、ORPHISが導入されてからは気軽に厚紙を使用できるようになりました。封筒などは従来モノクロ印刷のためリソグラフを使用していますが、角2・長3などの封筒サイズも予めサイズ登録があるため、今後は封筒に学校案内やイラストなどをカラー印刷するような活用もしていきたいと思えます。用紙対応力に優れたORPHISをフル活用し、今後も校内の印刷をカラー化していきたいですね。

営業担当者の声

先生方の普段の印刷作業の悩みを改善、そして快適な環境作りとして、ORPHISの提案をさせて頂きました。カタログでは分からないORPHISの魅力、先生方に実際に体感して頂く為、貸出を行いました。その結果、「作業効率UPを実感した!」「絶対に学校に無くてはならない存在!」との声を多く頂き、導入に至りました。先生方の目線に立ち、ORPHISを導入する事によって、どれほど印刷環境が変化していくのか、改めて自分自身も感じました。今後も他の学校にも、ORPHISの「魅力・価値」を共有し、市場を広げてきます。



営業担当：深谷 太紀